

BCアンテナ BC papabo

取扱説明書

| |
|---|
| BS・110°CS ANTENNA |
| BS・110°CSオフセットパラボラアンテナ 受信周波数 11.7~12.75GHz |
| BC75K (75cm) |
| DC15V方式 |



BSデジタルハイビジョン対応

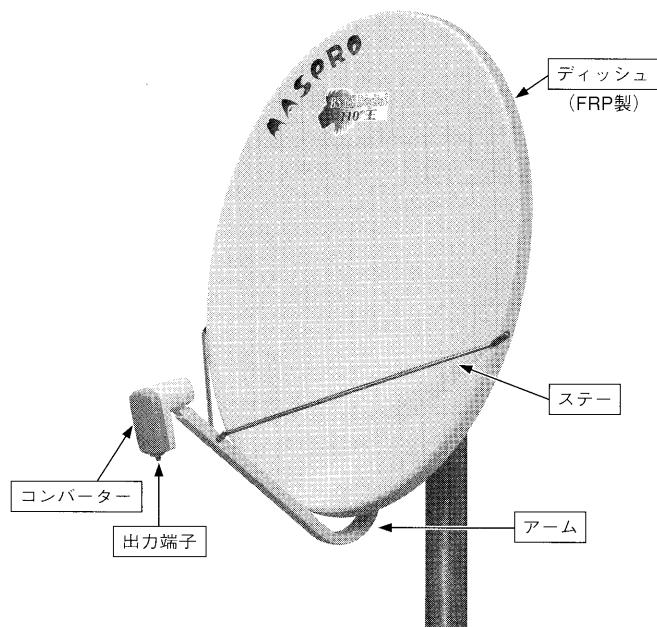
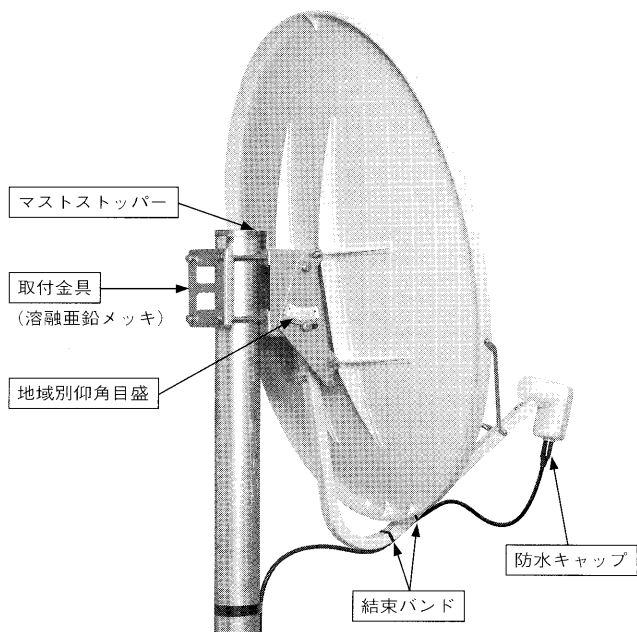
110°CSデジタル放送対応

110°CS 右左旋円偏波共同受信用

2600MHz 対応

BS・110°CS (スカパー!2, プラットワン) 受信用です。
スカパーフェクトTV!は受信できません。

MASter of PROduction
生産の精進



高性能G/T値を保証

G/Tは、アンテナ利得とコンバーター雑音指数(NF)によって決まる、衛星アンテナの総合性能です。マスプロBCパラボは、高効率ディッシュと高性能コンバーターによって、BSから110°CSまでの広帯域にわたって最高水準のG/T値になっていますから、雷雨・豪雨などで衛星電波が弱くなったときに威力を発揮します。

優れた位相雑音

局部発振位相雑音は、BS・110°CSデジタル放送を安定した画像で受信するために重要な性能です。マスプロのコンバーターは、独自の発振回路設計により、優れた位相雑音を実現していますから、BS・110°CSデジタル放送受信に最適です。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとは、保存してください。

BS・110°CS右左旋円偏波を同時に受信

超広帯域(2600MHz)伝送 (特許出願中)

2602MHzまでの周波数帯域を使用して、BSと110°CSの右左旋円偏波を同時に伝送します。

共同受信

BSと110°CSの右左旋円偏波の信号を1本のケーブルで同時に伝送できますから、共同受信のシステムが簡単に構築できます。



⚠ 警告

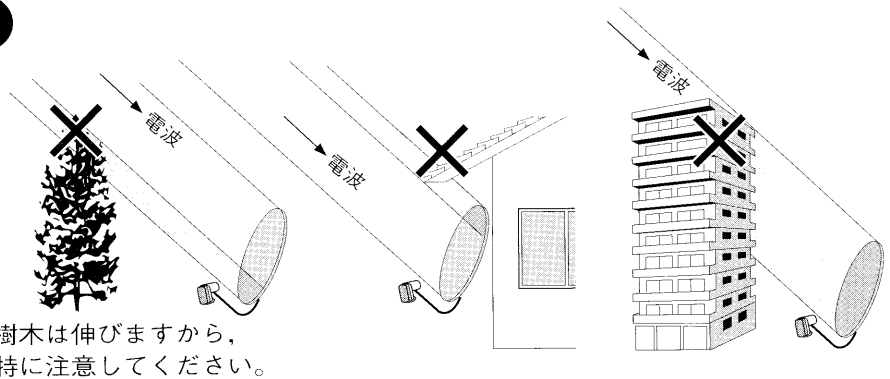
- 雷が鳴出したら、引込みケーブルやアンテナには触れないでください。感電の原因となります。
- ディッシュには、光沢がでる塗料やワックスなどを塗らないでください。太陽光線が反射して、コンバーターに集まり、やけど・故障の原因となります。(3月・10月初旬の13～15時には、特に熱くなります)

⚠ 注意

- アンテナを取付けるときは、落下防止のため、アンテナや工具をヒモで結ぶなどの、安全対策をしてください。
- アンテナを改造・分解しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 強風のときは危険ですから、取付作業をしないでください。

アンテナの設置場所

- アンテナが、しっかりと設置できる場所を選んでください。
- 西南方向の、斜め上方に、障害物(軒先、ビル、高架道路、崖など)のない場所へ設置してください。



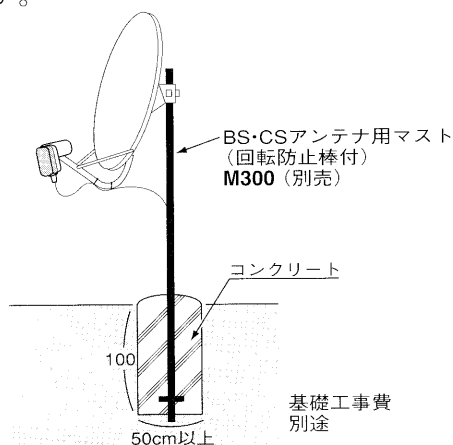
ご注意

BS・110°CSデジタル放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、ひどい場合、全く受信できなくなることがあります。

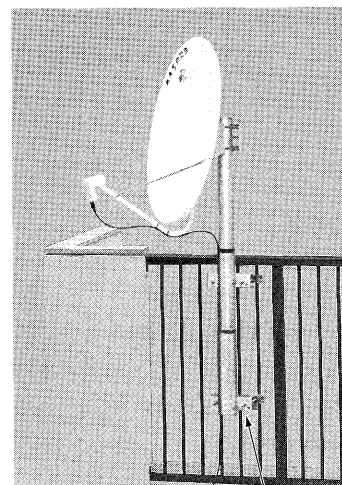
アンテナの設置例

地上設置

- 庭にマストを建てて設置する方法です。
- 手がふれない高さに、アンテナを取付けてください。



フェンス設置



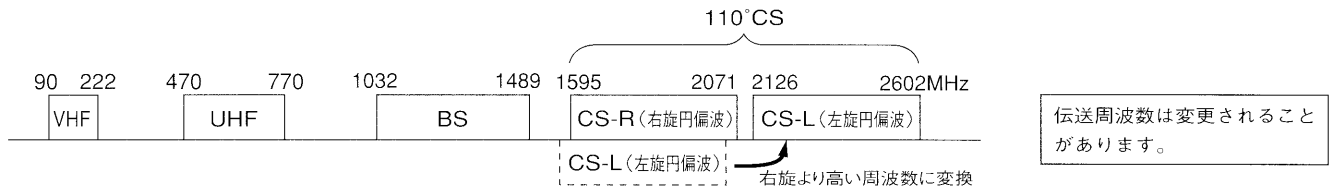
BS・CSアンテナ用
フェンスマスト
BM75(別売)

超広帯域 (2600MHz) 伝送

マスプロ電工では、2600MHz対応の製品をシリーズ化しています。これらの製品を使用しておけば、110°CSの放送や通信サービスのすべてを共同受信できます。

超広帯域 (2600MHz) 伝送とは

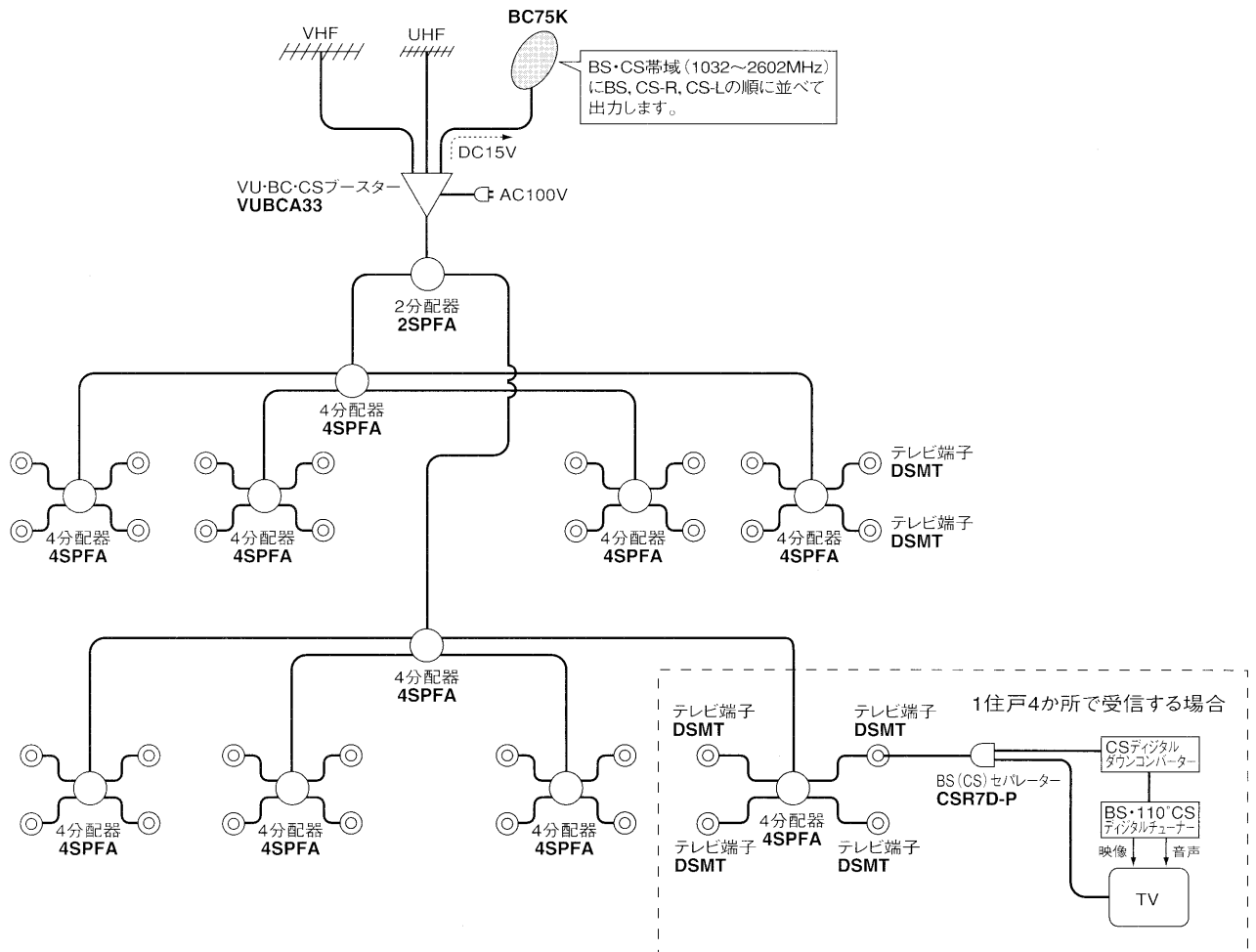
VHF・UHFとBSに加え、110°CSの右旋円偏波と左旋円偏波の信号が、1本のケーブルで同時に伝送できる方式です。110°CSの右旋・左旋の信号をすべてのTV端子に伝送するためには、2602MHzまでの周波数帯域が必要です。(下図参照)



伝送周波数は変更されることがあります。

使用例

- 全てのテレビ端子で、BSと110°CSのCS-R(右旋円偏波)、CS-L(左旋円偏波)のサービスが受けられます。
- CS-Lのサービスを受けるには、CS-Lのサービスを受信可能な周波数に変換するCS-IFダウンコンバーターが必要です。(右旋円偏波のみ受信するときは、必要ありません)



アンテナの組立・取付

① アーム固定ボルト(2本)でアームを取付けます。

- マスト固定ボルトをゆるめて、マスト金具を起こしてからアームを取付けます。
- ステーも取付けます。

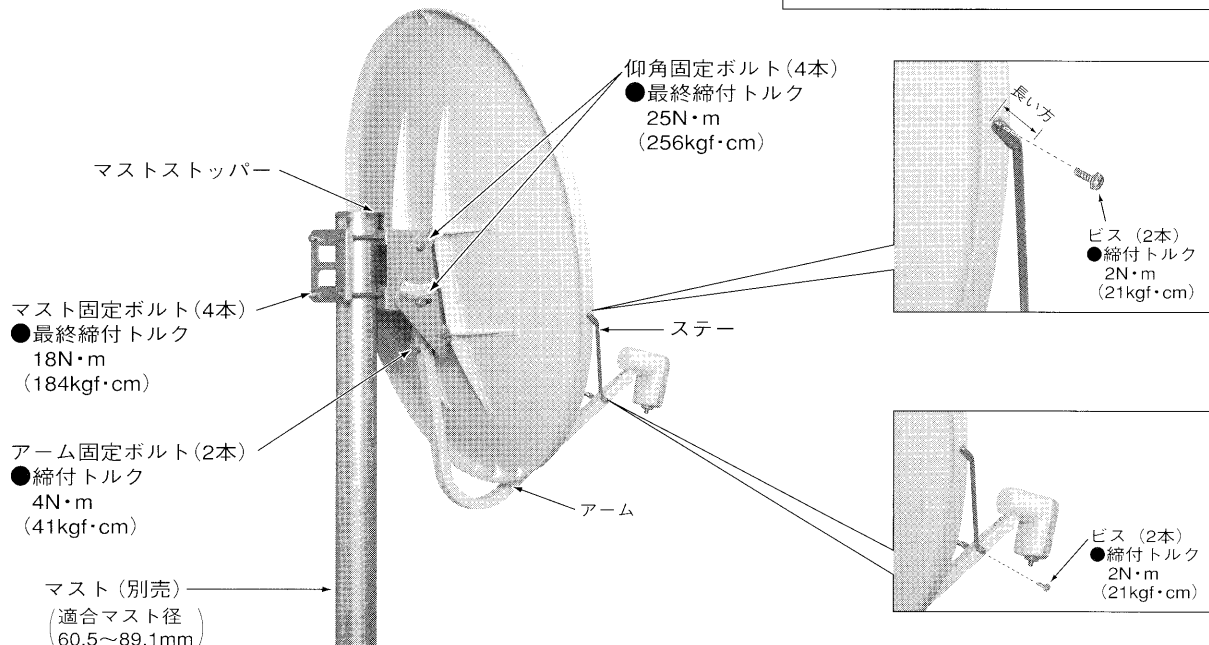
② マストにアンテナを取付けます。

アンテナが左右に回転する程度に、マスト固定ボルトを締付けてください。

⚠ 注意

アンテナは、強風の影響を受けやすいため、各固定ボルト・ビスを指定の締付トルクで、しっかりと締付けてください。取付けが不完全な場合、落下して、けがの原因となることがあります。

マストの先端に取付ける場合

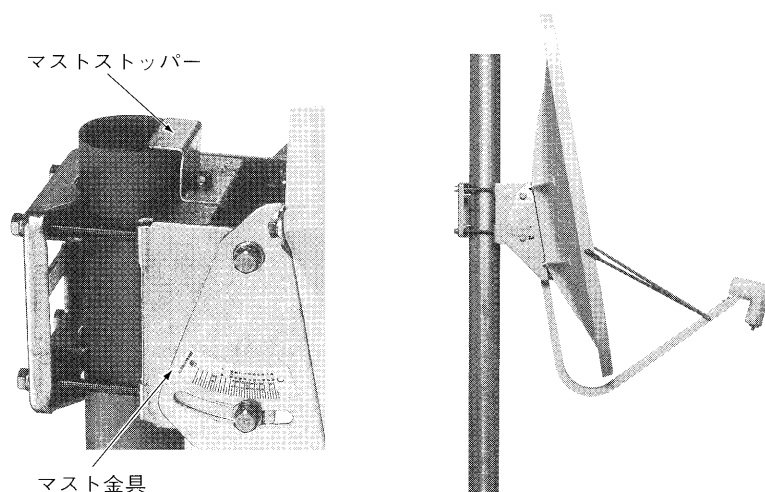


ご注意

マストは、必ず鉛直に建ててください。マストが傾いていると、地域別仰角目盛が合わなくなり、簡単に方向調整できないことがあります。

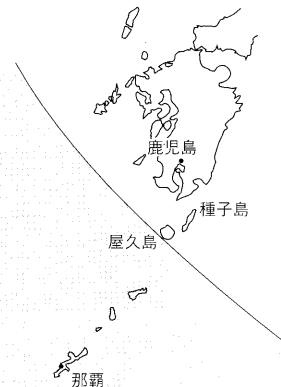
マストの中間に取付ける場合

- マストストッパーを取外してください。



ご注意

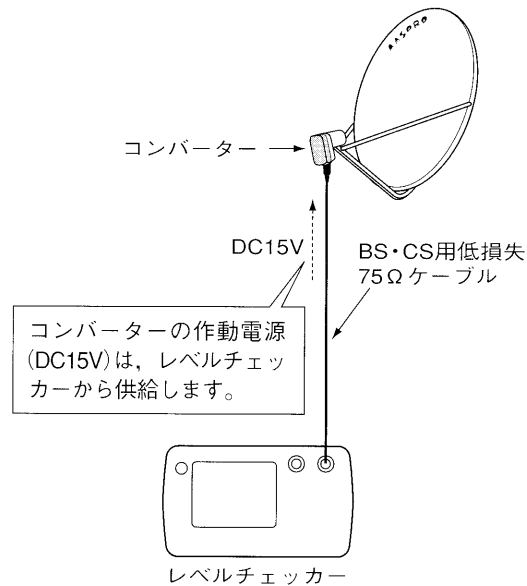
の地域では、マストの中間に取付けられません。



アンテナの方向調整

方向調整の準備

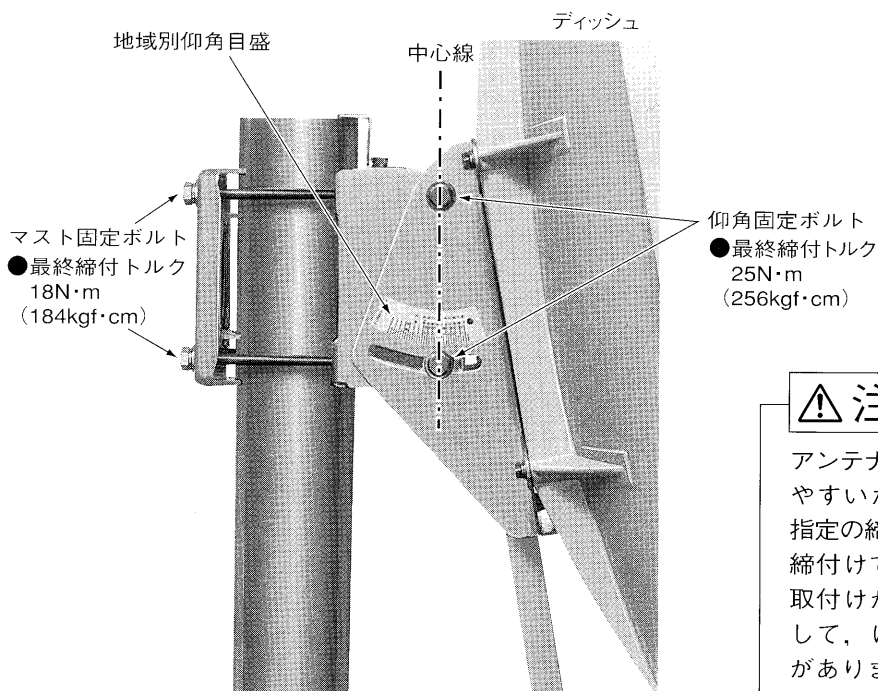
- レベルチェッカーとコンバーターを下図のように接続してください。
- レベルチェッカーのチャンネルを、受信するチャンネルに合わせてください。
詳しくは、レベルチェッカーの取扱説明書をご覧ください。



1 仰角の調整

仰角固定ボルトの中心線に、地域別仰角目盛に表示してある **地名** を、およそ合わせて、仰角固定ボルトを仮締めしてください。

受信点がどの **地名** に該当しているかは、p.6の「地域別仰角目盛対応図」で確認してください。



⚠ 注意

アンテナは強風の影響を受けやすいため、各固定ボルトを指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。取付けが不完全な場合、落下して、けがの原因となることがあります。

地域別仰角目盛対応図

□ ■ は、地域別仰角目盛に表示してある地名です。



② 方位角の調整

レベルチェッカーを見ながら、アンテナを西南方向（方位角）に向けて左右にゆっくり動かし、レベルチェッカーの指示値が最大になる位置でマスト固定ボルトを締付けてください。

③ 仰角・方位角の微調整

- ① 仰角固定ボルトをゆるめて、アンテナの仰角をレベルチェッカーの指示値が最大となる位置に合わせ、仰角固定ボルトを締付けてください。
- ② 再度、方位角・仰角の微調整を繰り返して、レベルチェッカーの指示値が最大となるようにしてください。
- ③ 各固定ボルトを指定の締付トルクで、しっかりと締付けてください。

締付部分は、初期ゆるみがありますから、数か月後、再度締直してください。

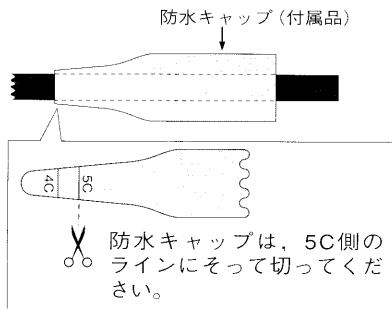
ケーブルの接続

- ① F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。よく説明を読んで取付けてください。

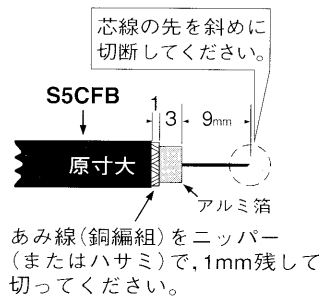
F型コネクタの取付方法

BS・CS用低損失75ΩケーブルS5CFBをお使いください。

- ① ケーブルを、付属の防水キャップに通す

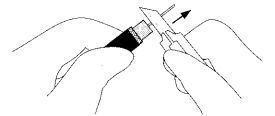


- ② ケーブルの加工



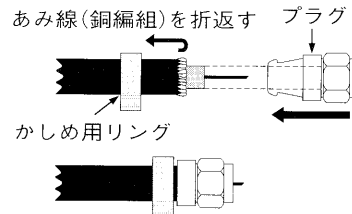
- ③ 白い膜を取除く

芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために、必ず取除いてください。



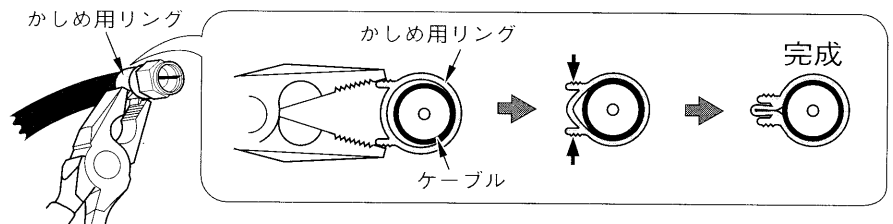
- ④ プラグの取付

1. かしめ用リングを、ケーブルに通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押し込んでください。

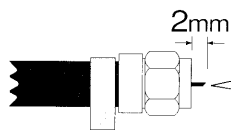


- ⑤ かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で、しっかりと圧着してください。



完成図



芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。

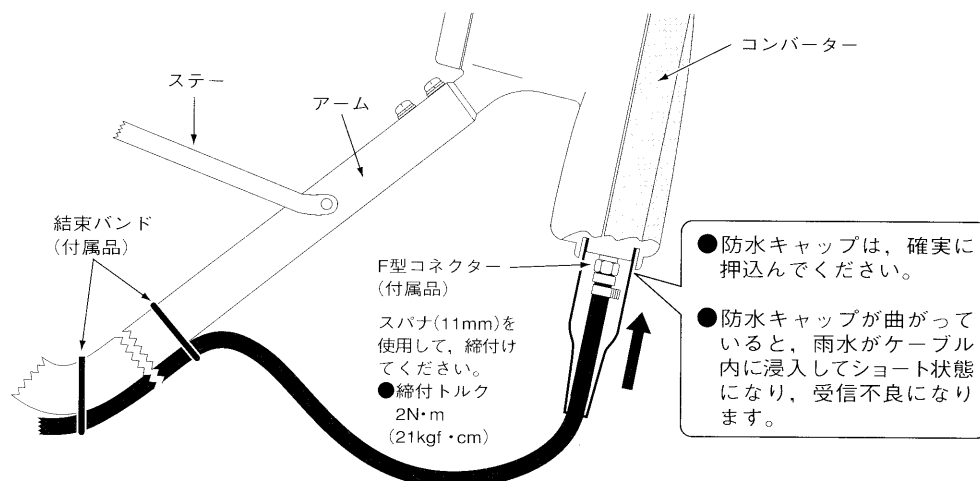
芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



- ② F型コネクタを、コンバータの出力端子へ、しっかりと接続してください。付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んで、防水キャップが曲がらないように、ケーブルを結束バンドでアームに固定してください。



規格表 Specifications



| 項目 Items | 規格 |
|--|---|
| 受信周波数 Reception Frequency | 11.7~12.75GHz |
| 受信偏波 Polarization | BS：右旋円偏波 110°CS：右左旋円偏波 |
| アンテナ利得 Antenna Gain | 37.9~38.8dB |
| 開口効率 Aperture Efficiency | 73~76% |
| 性能指数 (G/T) Gain to Noise Temperature Ratio | 標準値18.3dB/K (17.1~19.5dB/K) |
| 風圧荷重 Wind Loading | 76kg(風速40m/s) 170kg(風速60m/s) |
| 受風面積 Wind Surface Area | 0.54m ² |
| 有効開口径 Aperture Diameter | 750mm |
| 出力周波数 Output Frequency | 1032~2602MHz |
| コンバーター利得 Conversion Gain | 46~58dB |
| 局部発振位相雑音 Local Oscillator Phase Noise | 標準値 ⊖ 75dBc/Hz (1kHz オフセット) ◇ ⊖ 97dBc/Hz (5kHz ◇) ◇ ⊖ 106dBc/Hz (10kHz ◇) |
| 雑音指数 (NF) Noise Figure | 0.5~0.9dB |
| 出力インピーダンス Output Impedance | 75Ω (F型コネクタ) |
| 局部発振周波数 Local Oscillator Frequency | 右旋円偏波用：10.678GHz 左旋円偏波用：10.127GHz |
| 局部発振周波数安定度 Local Oscillator Frequency Stability | ±1.5MHz以内 |
| 使用温度範囲 Temperature Range | ⊖30~⊕50℃ |
| 電源 Power Requirements | DC15V 3.5W(標準値) |
| 外觀寸法 (仰角40°のとき) Dimensions | 920(H)×775(W)×780(D)mm (マスト径89.1mmのとき) |
| 質量 (重量) Weight | 約7.6kg |
| 適合マスト径 Adaptable Mast Diameter | 60.5~89.1mm |

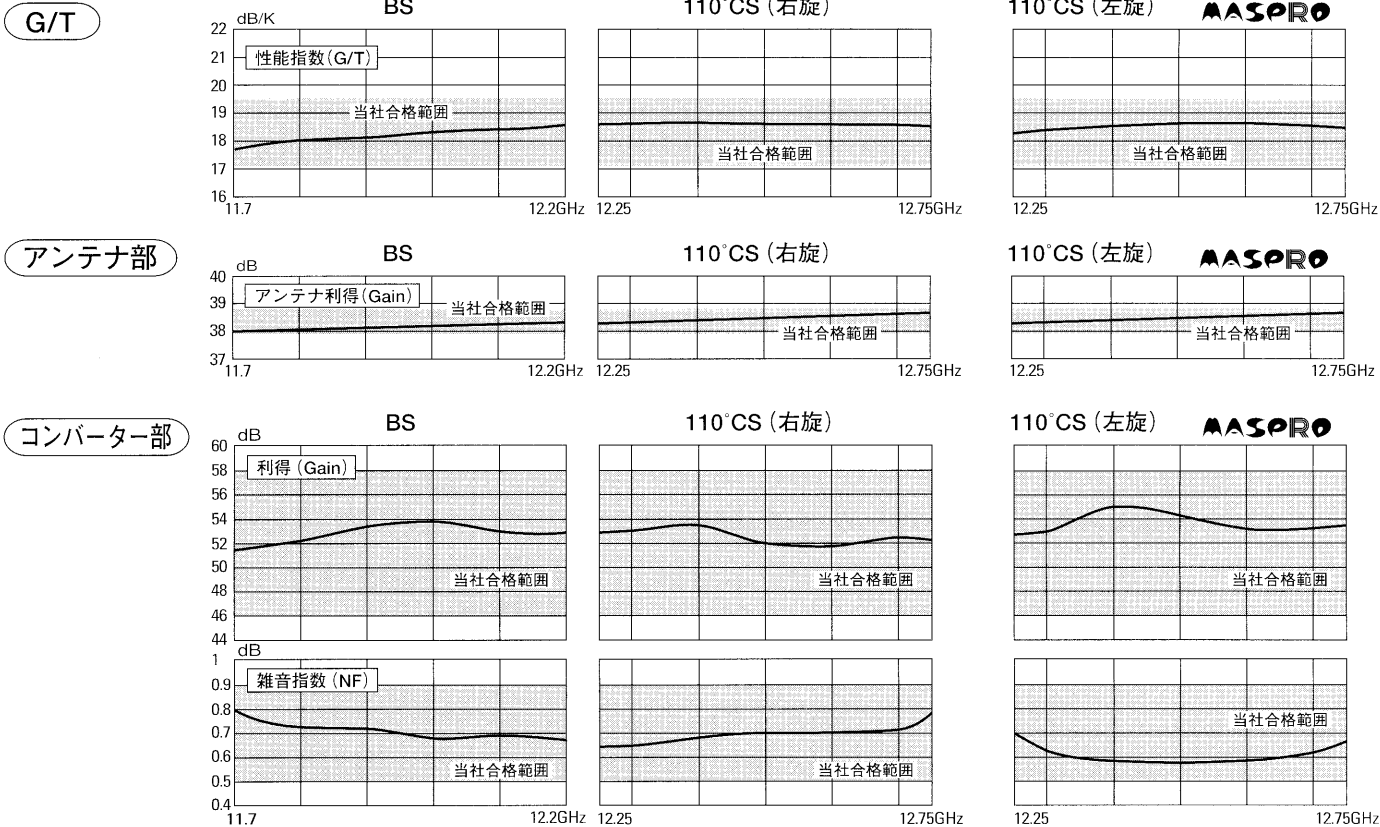
付属品

- F型コネクタ 1個 (5Cケーブル用)
- 防水キャップ 1個
- 結束バンド 2本 (ケーブル固定用)

マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

周波数特性

Frequency Characteristics



製品向上のため 仕様・外觀は変更することがあります。



本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
 営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244
 工事営業部 ◇ (052) 802-2225
 技術相談 ◇ (052) 805-3366
 インターネットホームページ www.maspro.co.jp